

# 東日本大震災支援委員会ニュース

## エマオから、被災地報告会

小西陽祐（余市教会牧師）

1月30日（土）午後2時から、北海道クリスチャンセンター・ホールにて、被災地報告会を開催した。今回は、東北教区より東北教区被災者支援センター「エマオ」の専従者として働かれている佐藤真史（まさし）牧師をお招きして、お話を伺った。10月には、教職講座にもお招きし、今回お忙しい中、快く引き受けてくださったことに感謝する。

「エマオ」は、活動当初から①お祈り（＝活動の原点）、②スローワーク（＝ワーク＋出会い）の2つを軸として活動を展開している。現在、「エマオ」では、泥かきや支援物資などの緊急支援ではなく、生活再建支援・仮設支援などの中長期的な支援を中心にしている。

仙台の荒浜、笹屋敷-石破地区では、農業の再スタートのための手伝い、家屋の修繕、津波で運ばれてきたガラス片やごみを敷地から撤去する作業を行い、仮設では毎朝ラジオ体操に参加し続けているのと同時に2か月に一回のお買い物ツアー、イベントの企画・実施などを行っている。また、石巻にある「エマオ」石巻では、漁業再スタートの手伝い（わかめの加工・海苔や牡蠣の養殖の手伝いなど）が行われている。

ボランティア活動はあくまでも被災者との関係作りの中で行われるものであり、出会いを大切にする「エマオ」の活動は、被災地に生きる人々の信頼を得ている。

佐藤牧師は、現地でも地域によって震災が風化してきていること、またエマオやエマオ石巻で働く若いスタッフたちが自分の人生をかけ、身を削るようにして働いているとの現状をも涙と共にお話くださった。その言葉を心に刻み、わたしたちもできる限りの支援をすることが求められていると感じた。

今回の出席は25名。席上で22,811円の募金がささげられ、全額を「エマオ」に送金した。



エマオの公式ブログから

## 「報告集会 東北教区・保科隆牧師を迎えて」

久世そらち（札幌北部教会牧師）

東日本大震災から2年10ヶ月を経た1月12日・13日、教団の東日本大震災救援対策本部と協力して大震災の報告集会を行いました。このために教団から報告者として、東北教区副議長の保科隆牧師（仙台東一番丁教会）を派遣していただきました。

保科牧師は、福島第一原発から20キロ圏内にある小高伝道所の代務者として、放射能被害に直面しておられます。また、震災と原発事故の後、仙台のキリスト教諸教派の協力で設置された食品放射能計測所「いのり」室長となりました。さらに、昨年秋に発足した東北教区の放射能問題支援対策室「いずみ」の室長にも就任されました。地震、津波、そして原発事故による被災地の現状と、支援の課題についてお話しいただきました。

1月12日（日）の夜、札幌北光教会を会場に、「東日本大震災 祈りの夕べ」として、札幌北光教会の夕礼拝と合同する形で集会を行いました。約40名の参加者が、保科牧師のメッセージをうかがい、被災地を覚えて祈りをあわせました。

翌13日（月）は、旭川で行われた北海教区年頭修養会のナイトプログラムのひとつとしてお話をしてい

いただきました。年修の参加者から約50名が参加しました。

いずれの集会でも、東北教区被災者支援センター「エマオ」の活動を紹介するDVDを上映、それと共に保科牧師からのお話で理解を深めました。大震災から3年近くたつ今も、人々の心や地域社会の傷はいえず、さらに放射能の被害と不安は多くの人の生活を脅かしています。その人々によりそいかかわる支援の難しさも考えさせられました。

2回の集会では計58,900円の募金が献げられ、教団の支援募金・「エマオ」・「いずみ」に送りました。

まもなく大震災から3年となります。教区では記念礼拝・報告会を予定しています。被災地の苦悩を忘れずに覚え続けることを私たちの務めとしたいと思います。

## 奥羽教区、被災教会の様子 (2014.2.1現在)

(奥羽教区公式ブログより)

### \*\*\*\*\* 宮古教会 \*\*\*\*\*

昨年末(12/24)、教会・牧師館、幼稚園舎移設先の土地を購入、建築工事に向けての準備が着々と進められています。

### \*\*\*\*\* 新生釜石教会 \*\*\*\*\*

昨年夏前から休職していた、柳谷牧師が1月より復帰、教会は昨年秋より牧師館。礼拝堂修繕工事を行っています。3月末に修復工事完了予定。



新生釜石教会修復工事中！

各地からの訪問もつづいていきますし、仮設住宅団地での寄り添い活動がお出でになった方々をもふくめて継続されています。教会では礼拝において証し会がもたれ、礼拝後には祈祷のグループの活動や、大人の教会学校も続けられています。

### \*\*\*\*\* 千厩教会 \*\*\*\*\*

新礼拝堂・牧師館で初めての冬を過ごしています。玄関スロープなどに屋根からの落雪や降雪の課題が見えてきました。多少の手直しが必要ですが、建築資金として教団救援対策本部からお借りした2500万円について返済計画に目処を立てました。2014年3月末には返済する計画でいます。(半額は昨年返済し、残り半部の返済を)なお、外構工事も順調に進めています。



宮古教会、建築模型

### \*\*\*\*\* 大船渡教会 \*\*\*\*\*

各地からの訪問もつづいていきますし、仮設住宅団地での寄り



大船渡教会、札幌地区の5名が訪問

## 東日本大震災支援活動募金をお願いします。

2013年度募金総額 2,058,778円 2014年2月20日現在残高 990,331円

送金先 ゆうちょ銀行 「北海教区東日本大震災支援委員会」 記号19070 番号499431